

「トンネル建設」特集号

目次

国産建設機械の発展を望む……………	藤井松太郎	1
飯田線付替工事大原隧道大嵐方の 全断面掘さくについて……………	足立貞彦	2
東上田発電所第4号隧道 機械化施行の工事実施について……………	土本真	11
関門国道トンネルの 工事機械の一、二について……………	住友彰	22
随筆—御用聞……………	X 生	25
新丹那トンネルの思い出……………	河野康雄	26
泉隧道施工について……………	比留間豊	30
抄訳—Ontario 水路隧道 コンクリート覆工工事について……………		36
現場から—(IX)々碎石砕砂々(その一)……………	中岡二郎	40
行事一覧、編集後記……………		43

◇表紙写真説明◇

株式会社 小松製作所製 HD 150型ダンプトラック (クオーリー型)

本車は我が国最大のダンプトラックで、大型パワー・ショベルと組合せて使用し、15トン (メートルトン) を積載して、短距離輸送に従事することを目的として造られ、所謂「荒い使用」に十分耐えられるだけの強度を備えております。

従来の国産ダンプトラックは、普通のトラックシャシーをそのまま利用して、それにダンプ架装を施したものであるため、種々の点において現場の要求を満せない欠点がありました。が、本車は始めからダンプトラック専用車として設計してあります。

寸法—全長 7.08 m (7.086 m)、全巾 2.68 m (3 m)、全高 2.975 m (3.05 m) 軸距 4 m、  
軸距 前 2 m 後 1.88 m、最低地上高 0.32 m

重量—車輛重量 14.3 t (15.3 t)、最大積載量 15 t (13.5 t)

性能—最小回転半径 9 m、最高速度 44 km/h、登坂能力 36%

ダンプ装置—荷台容量 8 m<sup>3</sup>、ダンプ角度 70°

機関—型式小松 4 サイクル 6D 140 型、最高出力 200 HP/2000 r.p.m.,  
最大回転力 83 kg-m/1200 r.p.m., 総排気量 14.78 lit

クラッチ—乾燥単板式、変速機—F5 R3 補助変速機付 (前後進各1)

終減速機—2段減速、車軸—前 エリオット型 後 全浮動式

車輪—前タイヤ 14.00-24-20 PR (2)、後タイヤ 14.00-24-20 PR (4)

スプリング—前有 後無

註記—寸法及び重量はスタンダード型、( ) 内数字はクオーリー型を示す。